



KSK あまねだより



発行 神奈川県障害者定期刊行物協会
 222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階
 横浜市車椅子の会内

編集 あまね共同作業所
 239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1
 TEL 046-835-0723 FAX 046-833-4062
 2019年1月26日 第418号

(頒価 20 円)

安居楽業の研修に参加して

梅の花と香りが春の訪れを感じられる季節となり、厚い上着を脱いで、「あそこに行きたい。」「あれを見に行きたい。」と出かけたい衝動にかられるのですが、いざ思うと「お金がない。」「暇がない。」と現実を突き付けられて諦める日々です。

2月15日～16日の2日間、きょうされんが主催する「安居楽業」と耳慣れないテーマの研修会に参加させていただきました。「安居楽業」をスマホで検索すると、「地位など、今いる環境や状況に心安らかに満足し、自分の仕事を楽しく行うこと。また、転じて善政(政治)が行われて、世が治まり生活が安定(国民生活の安定)して、みなそれぞれの仕事に励む意味。」と改めてこの言葉の意味を噛みしめて、障害があろうがなかろうが誰も安心して暮らし、それぞれの仕事や活動に楽しく励める社会。その前提には善政がなされている社会。この言葉には、あまねが目指しているものと共通しているのではないかと思います。

今回の研修の基調報告では、「社会を蝕む優生思想」というテーマで、優生思想の源流と歴史的な流れについての説明がありました。優生思想を学問として初めて提唱したのは、19世紀の終わり頃、イギリスのフランシス・ゴルドンという種の起源のダーウィンの従兄が、優生学として提唱しました。優生思想を端的に言うと「社会のために優秀な遺伝子により優秀な子孫を残し、知的あるいは身体的に劣る者の遺伝子は、人的操作で排除、消滅させることを目的とする。」ことで、この思想を社会政策としていち早く取り入れたのは、アメリカで1907年インディアナ州で断種法が成立し、瞬く間に32州に広がり、純血な民族主義と移民の排除につながっていったとのことでした。

北欧でも多くの国が優生思想に基づく法律を立法化し、福祉国家として名高いスウェーデンでも1975年まで、精神障害者、知的障害者等を対象にした断種法が続いていました。ドイツでは、ナチス政権が発足すると「T4作戦」(1939年～1941年)と呼ばれた優生学思想に基づく安楽死政策がとられ、精神障害者等や労働不能者、反社会分子と判断された人が、毒ガスや一酸化炭素ガスな

どによる集団的な殺害方法が用いられ、精神病患者は8～10万人が犠牲となり、その殺害方法が、後のナチスによるユダヤ人の大虐殺に利用されました。

日本では、戦中は国民優生法が法制化されましたが、当時の国策である「産めよ増やせ」の富国強兵策とはなじまず、強制断種等は行われませんでした。戦後の1948年に法制化した優生保護法は、より優生政策が強化され、国民の人権、個人の尊厳を権利として謳われている日本国憲法の下、障害を理由に個人の人権、尊厳が踏みにじられ、本人の意思に反する強制的な断種手術が長きにわたり行われてきた歴史があります。

現在、旧優生保護法の下で、強制不妊手術をされた被害者が全国各地で勇気をもって、国家賠償を求める訴訟を起こしています。命の価値に優劣をつける優生思想の誤りを正す動きの一方、「津久井やまゆり園」の事件後、犯人の行為を肯定するようなネットの書き込みなど、まだまだ現代社会には根強く優生思想が存在します。また身近な地域や自分自身の中にある様々な人に対する偏見、差別をなくし、尊重し、共同できるのか、福祉の現場に身を置くものとして、私自身、存在意義が問われていると思います。(文責 山田)



ヘルパー募集

社会福祉法人あまねでは、ヘルパーを募集しています。内容は知的に障がいのある人への外出介護になります。

ヘルパー資格を持っていて、やる気のある人を募集しております。時間等も週1回、1時間から相談に応じます。

詳しいことは・・・046-833-2919 (担当：藁谷)

資源回収ご協力ありがとうございます

1月実施分は
20,187kgでした。

(奨励金は80,700円)

次回の日程は別紙にて
お知らせします。

**問い合わせは9:00以降にお
願ひいたします。**

☆スケジュール(3月)

- 1日 ポツチャ交流会(茜洋舎)
- 4日 「地域で自分らしく生きる」研修会
横須賀市総合福祉会館5階ホール
- 8日 資源回収 岩戸・池田
- 9日 資源回収 舟倉・若宮台
- 12日～13日 きょうされん街頭署名活動
横須賀中央駅前Yデッキ
- 16日～21日 生活介護利用者春休み
- 22日 生活介護職員会議
- 27日 クラブ活動

☆バザーの予定(3月)

- 2日(土) キックオフフェスタ
- 5日(火) 通研



【ありがとうのじゅんぽう】
(順不同)
資源回収の折、バザー用品や寄付などを頂きます。お名前を記せませんが、有効に活用させていただきます。



スポーツクラブの一日



梅の花や三浦の河津桜の鮮やかなピンクの花が春の訪れを感じられる季節となりました。と同時に私にとっては目に見えない恐怖の大王が降り注ぐ季節です。あまねだよりを書くために、こうしてパソコンと向かい合っている間も、ティッシュペーパーの箱を横に、きれいな話ではありませんが、目のかゆみ、くしゃみ、鼻水と格闘しながらキーボード入力しております。

さて、今回はあまねだよりをご愛読していただいている皆様に、各月一回(都合により実施しない月もあります。)実施しているクラブ活動の中のひとつ、スポーツクラブの様子をお伝えできればと思います。その前に、クラブ活動のご紹介をします。あまね共同作業所、ワークハウスあまね、キッチンハウスあまねに通う40名の仲間を5つのグループに編成し、概ね第4週目の水曜日の午後から、美術クラブ、書道クラブ、華道クラブ、茶道クラブ、そして私が所属するスポーツクラブに分かれて行っています。

スポーツクラブと茶道クラブ以外はそれぞれ講師の方がボランティアとして仲間たちにご指導いただいております。茶道クラブに関しては、法人の海原理事長と一緒に仲間たちとおいしいお茶を点て、手作りのお菓子で好評を博しているとのことでした。

2月27日に行ったスポーツクラブは、ショッパーズプラザの7階にあるボウリング場でボウリングを楽しみました。ショッパーズと言えば、3月いっぱいまで改装のためすべての店舗、施設が閉店となります。障害のある仲間たちにとってもショッパーズは、余暇活動の場、憩いの場としての重要な役割を果たしてきたと思います。改装後、どんな店舗や施設になるのかは、現在白紙とのこと。私たちの願いは、改装前と変わらず、仲間たちが安心して楽しめる場として、今後とも継続していただきたい願っています。

ようやく本題にたどり着きますが、ボウリングは仲間たちにとって楽しみな活動のひとつで、スマホを持っている若い仲間は、スマホのアプリのボウリングゲームで入念に練習重ねていたと聞き及んでいます。当日、その仲間は気持ち先行してか、ピンの前のバーがまだ上がっていないのに投げ急ぐことがしばしば、しかし2ゲームトータルの結果は、堂々10人中第2位でした。

他の二十代の仲間は「ストライク」出すと満面の笑顔で戻ってきて、職員や仲間とハイタッチ。喜びを体いっぱいに表示している様子に、若い仲間の成長が感じられました。また、ガーター止めの壁をビリヤードのように有効利用し、裏技を使ってストライクを出す人。紅一点、プロボラーのように美しいフォームで投げた女性の仲間。このように仲間たちの個性が光ったボウリングを、またショッパーズ新装後もできるように、そして、繰り返になります。仲間たちの楽しめる場、余暇活動の場としてのショッパーズの復活を切に願い、官民一体となり声を出して働きかけていきたいです。



(文責 山田)

あまねに新たな事業(自立生活援助)が加わりました。

平成30年から新たに法制化された自立生活援助という事業で、入所施設、グループホームや精神病院から地域での一人暮らしに移行した仲間が理解力や生活等に不安を感じる人に、一定の期間、定期的な訪問、随時の通報を受けて行う訪問、仲間からの相談対応等により、仲間たちの日時用生活の課題を把握し、必要な情報の提供、及び助言、関係機関との連絡調整等を行うことを目的で、昨年12月より事業の認可申請をして許可がおりました。名称は生活サポートあまねです。今後、この事業が仲間たちが地域で安心して暮らすための一助となるよう努力します。

静岡県牧之原産やぶきた

深蒸し茶を販売しています

200g 千円

ご注文は作業所まで

046-835-0723



ふきん販売に

ご協力ください

布地8枚重ね 3枚組

660円

ご注文は作業所まで

046-835-0723